

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月

作成者：(株)エックス都市研究所

 <p style="text-align: center;">施設全景</p>	【施設名称】
	【事業主体】 神奈川県横須賀市・住友重機械工業株式会社
	【所在地】 神奈川県横須賀市
	【運転開始年】
原材料および利用量	生ゴミ（2t）
生産物（種類）	バイオガス（50.7Nm <sup>3</sup> 、走行距離約 157km 相当）
利用方法	ごみ収集車の燃料として使用
導入目的・経緯	横須賀市では、総ごみ排出量の80%を占める燃せるごみの減量化・資源化施策として、住友重機械工業株式会社と共同で燃せるごみの中に含まれる「生ごみ」を機械的に選別し、メタン発酵により得たバイオガスを圧縮天然ガス自動車燃料に精製してごみ収集車を走らせる実証試験を実施。
設備仕様	
稼働状況	
経済性関連データ	
導入効果	<p>実用化すると、生ごみを資源として活用でき、ごみ焼却量を減少することができるばかりか、焼却施設からの排出ガスによる環境負荷の軽減を図ることができるメリットがある。</p> <p>横須賀市及び近隣市町で推進している広域処理の施設規模を念頭に、システムの経済性について評価した結果、焼却施設（全量焼却）と比べ、バイオガス設備・焼却設備併設施設の方が建設費で3%、維持管理経費で5%削減効果が確認された。環境負荷の評価においてはバイオガスを燃料とした天然ガス自動車はディーゼルごみ収集車と比較して排気ガス中の環境負荷物質が71～100%削減され、また焼却設備からの排出ガスはバイオガス設備・焼却設備併用施設の方が33～37%削減されることが確認された。</p>
運営上の課題	
備考・参考資料	JORA 社団法人日本有機資源協会 利活用最良表彰 16年